

27	そんなことをして、こぼれでもしたら、せつかくのびんはこわれるし、おぼあさんにあげるものなくなるからね。	そんなことをしてこぼれでもしたら、せつかく日本語で発話する] せつかくのびんはこわれる[日本語で発話する] せつかくのびんはこわれる[日本語で発話する] せつかくのびんはこわれる[日本語で発話する] せつかくのびんはこわれる[日本語で発話する]	そんなことをして、こぼれでもしたら、せつかく、それから、いったことは、もし仮にこぼれたら、それは、(のびん)のびんはこわれる。おぼあさんのびんはこわれる。もし、がある[win] [タイ語]において外来語に当たり、タイ語発音をする] のびん、え、指さして、おぼあさんがこぼれたらです。ん、おぼあさんにあげるものがないよ。		
28	それから、おぼあさんのおへやにはいったら、まず、おはようございます、えい、のびんをわすれにね。	えい、のびんをわすれにね。それから、おぼあさんのおへやにはいったら、まず、おはようございます、えい、のびんをわすれにね。	それから、おぼあさんのおへやにはいったら、まず、おはようございます、えい、のびんをわすれにね。		
29	はいと、いきなり、おへやの中をきよきよみまわしたりなんかしないでね。」	はいと、いきなり、おへやの中をきよきよみまわしたりなんかしないでね。」	はいと、いきなり、おへやの中をきよきよみまわしたりなんかしないでね。」		
30	「そんなこと、あたし、ちゃんとよくしてよ。」と、赤ずきんちゃん、おぼあさんにそういって、指さしました。	そんなこと、あたし、ちゃんとよくしてよ。」と、赤ずきんちゃん、おぼあさんにそういって、指さしました。	そんなこと、あたし、ちゃんとよくしてよ。」と、赤ずきんちゃん、おぼあさんにそういって、指さしました。		
31	とどこで、おぼあさんのおうちは、村から半道はなれた森の中にあつた。	とどこで、おぼあさんのおうちは、村から半道はなれた森の中にあつた。	とどこで、おぼあさんのおうちは、村から半道はなれた森の中にあつた。		
32	赤ずきんちゃんが森にはいりかけますと、おおかみがひょこひょこで来ました。	赤ずきんちゃんが森にはいりかけますと、おおかみがひょこひょこで来ました。	赤ずきんちゃんが森にはいりかけますと、おおかみがひょこひょこで来ました。		
33	でも、赤ずきんちゃん、おおかみて、どんなわけのいいのだから、いけませんで、べつだん、こわいとおもいませんでした。	でも、赤ずきんちゃん、おおかみて、どんなわけのいいのだから、いけませんで、べつだん、こわいとおもいませんでした。	でも、赤ずきんちゃん、おおかみて、どんなわけのいいのだから、いけませんで、べつだん、こわいとおもいませんでした。		
34	「赤ずきんちゃん、こんちは。」とおおかみはいいました。	「赤ずきんちゃん、こんちは。」とおおかみはいいました。	「赤ずきんちゃん、こんちは。」とおおかみはいいました。		
35	「ありがとう、おおかみちゃん。」	「ありがとう、おおかみちゃん。」	「ありがとう、おおかみちゃん。」		
36					なぜ、ありがとうなのですか。
37					
38	「たいそうはやくから、どちへ。」	「たいそうはやくから、どちへ。」	「たいそうはやくから、どちへ。」		
39					尋ねたのは誰ですか。
40					
41	「おぼあさんのところへいくよ。」	「おぼあさんのところへいくよ。」	「おぼあさんのところへいくよ。」		
42	「前かけの下にもつてるものは、なに。」	「前かけの下にもつてるものは、なに。」	「前かけの下にもつてるものは、なに。」		
43	「お菓子に、ぶどう酒。」	「お菓子に、ぶどう酒。」	「お菓子に、ぶどう酒。」		
44	おぼあさん、ご病気はよわっているでしょう。	おぼあさん、ご病気はよわっているでしょう。	おぼあさん、ご病気はよわっているでしょう。		
45	それでおみまいにもつてあげようとおもって、きょう、おうちで焼いたの、これでおぼあさん、しっかりなるわ。」	それでおみまいにもつてあげようとおもって、きょう、おうちで焼いたの、これでおぼあさん、しっかりなるわ。」	それでおみまいにもつてあげようとおもって、きょう、おうちで焼いたの、これでおぼあさん、しっかりなるわ。」		
46					
47					
48	「おぼあさんのおうちはどこさ、赤ずきんちゃん。」	「おぼあさんのおうちはどこさ、赤ずきんちゃん。」	「おぼあさんのおうちはどこさ、赤ずきんちゃん。」		
49	「これかまた、八、九(ちよう)もあるいてね、森のおくで、大きな木の、ぼん立っている下のおうちよ。」	「これかまた、八、九(ちよう)もあるいてね、森のおくで、大きな木の、ぼん立っている下のおうちよ。」	「これかまた、八、九(ちよう)もあるいてね、森のおくで、大きな木の、ぼん立っている下のおうちよ。」		
50					
51					
52	おうちのまわり、くるみの生(い)け(き)があるから、すぐわかるわ。」	おうちのまわり、くるみの生(い)け(き)があるから、すぐわかるわ。」	おうちのまわり、くるみの生(い)け(き)があるから、すぐわかるわ。」		

		発音する) au พจนานุกรมเป็นภาษาไทย [スマートフォンを触り、画面を表示させる。]			
53	赤ずきんちゃんは、こうおえました。	ที่ หมูน้อยหมากแดงคือหมาแดงที่ ที่บอกว่า	それで、赤ずきんちゃんはこのように答えてきました。んーいったのは、		
54	おおかみは、心の中でかみがえていました。	でかみがえ[日本語で発話する] แล้วหมาป่าก็คิดในแบบที่ ก็เป็นที่จะความคือของหมาป่า	「でかみがえ」それで、おおかみがかみがえておいたのはんーここで、んーこの中はおかみのかみがえをいいます。		
55	「わかい、やわかそうな小むすめ、こいつはあぶらがのって、おおいそだ。	「やわかそうな小むすめ こいつはあぶらがのって おおいそだ」[日本語で発話する] ที่หมาป่าคิดว่า เด็กคนนี้เด็กฉลาด แหมทำทางน่าจน [笑] แต่ก็ อ้าหมากตัวแบบ เอะ มีน้ำหนักลึกลับหมอนี้คงจะซ่อนแะ ๑ [笑]	「やわかそうな小むすめ、こいつはあぶらがのって、おおいそだ」んーおおかみは「この子はまあどうぶだかな、なんかおそろくやわかかそな様子で」[笑]、それに、もし、仮になんか、えーしかもちよつと白く髪々があるこれは絶対におおしいはずで」[笑]。		
56	ばあさまよりは、ずっとあじがよからう、ついでにりょうほいしよしよ、ばつくりやるふうがかんじんだ。」	とあじがよからう[日本語で発話する] ก็คือฉันเองมีน้อยใจว่าคำว่ามันนั่น แหมแล้วถ้าต้องการจะส่งหมาไปหาคุณยายก่อนนะ ๑ เผลอเป็นการคิด จะไปกินหมูน้อยหมากแดง	「とあじがよからう」というのはこれ、このところはどいいたことを話しているのかあまり自信がありません。でも、推測でならもっておばあさんを訪ねて行きたかったに違いありません。待ち伏せて、赤ずきんちゃんをたべに行くために。」		
57	そこで、おおかみは、しばらくのあいだ、赤ずきんちゃんとならんであるきながら、遊みちこう話しました。	แล้ว [しばらく黙っている] แล้วหมาป่า พอมองว่าทั้งคิดในแบบนั้น ก็ เดินไปกินหมูน้อยหมากแดง แล้วก็พูดว่า	それから「しばらく黙っている」それから、おおかみ、そのようにかみがえてはいないに、まあ、赤ずきんちゃんとおかみとあるいて行かない、それに話したことはない。		
58	「赤ずきんちゃん、まあ、そこらじゆくわいかに咲いている花をござらん。	เออ หมูน้อยหมากแดง ตรงนี้แหละ มีดอกไม้บานอยู่เต็มไปหมด สวย มากน้อยไม่ไหนเลย ลุคี้	うー 赤ずきんちゃん、このあたりはですね、いたるところに花が咲いていて、きれいで、いたるところに咲いているよ。みてみなさい。		
59	なんだって、ほうほうながめてみないんだらうな。	เออ ตรงนี้ ほうほう ほうほう[日本語で発話する] แปลว่าอะไรไม่ แล้ว ながめてみないんだらうな[日本語で発話する] คิดว่าไม่สำคัญก็เลยอ่าน [笑] เพราะว่า น่าจะเป็นคำบรรยายของสวนดอกไม้ที่กำลังจะพูดถึง	えー、このところ、ほうほう、ほうほうを何と訳すかわかりません。でも、「ながめてみないんだらうな」は、重要ではなさそうなので、飛ばします[笑]、というかも、おそろく今言及している花園の説明の言葉です。		
60	ほら、小鳥が、あんなにいい声で歌をうたっているのに、赤ずきんちゃん、なんだかまるで聴いていないようだなあ。	แล้วก็ เออ มีนกน้อยที่ร้องดีเพราะขนาดมันอยู่สองละ หมูน้อยหมากแดง	それから、ほら、あんなにきれいなうたっているの小鳥もいますよ。赤ずきんちゃん。		
61		なんだかまるで聴いていない[日本語で発話する] ตรงนี้แหละไม่สำคัญก็เลยอ่าน แล้วก็เลยอ่าน	「なんだかまるで聴いていない」、このところは何なのか訳すできません。でも、おそろく「聞いて話しています。ですが、なんか、ですが、そんなに重要でないと感じます。ので、飛ばします。」		
62	学校へいどきのように、むやみと、せっせこ、せっせこと、あるいているんだなあ。	ยามี้とせっせこ[日本語で発話する] ก็จากบอกว่า น่าจะแบบ เหมือนกับเวลาไปโรงเรียน ก็ เหมือนกับว่าเวลาเดินไปโรงเรียน ซึ่ง ะมุยามี้とせっせこ せっせこ[日本語で発話する] ไม่รู้เหมือนกันกับว่าแปลว่าไร แต่ก็จะจำแนกคำบรรยายที่ชัดเจน	「ยามี้とせっせこ」、まあこの人がいったことは、おそろくなんか、学校へ行くときのように、その、学校へあるいていどきのように、つまり「むやみと、せっせこ、せっせこ」と、わたしもその言葉がわかりません。が、おそろく説明の言葉だけですから飛ばします。		
63	そとは、森の中がこんなにみるくてくのしいのに。」	แล้วก็ฟังเสียงนกอินทรี	それから、その外の部分は、「あかるくてのしいの」、いー、外、えー、森の中にも、みえるよになにかがあります。きれいな感じで、えー、おもしろそうにもみえます。とかこのようになんかです。		
64	そういわれて、赤ずきんちゃんは、あおむいてみました。	พอพูดแบบนี้หมูน้อยหมากแดงก็ ลอยบิน ลอยบินไปอย่าง	このように言われて赤ずきんちゃんは、振り返ってみて、あたりをみ回してみて、		
65	すると、お日さまの光が、木の葉の茂った中から落ちて、これが、そこでも、とも、たの、そらにまんさんして、どの木にも、木の葉にも、きれいな花がいつは咲いているのが、目にはいりました。	ทันใดนั้นก็เห็นแสงของพระอาทิตย์ [「茂った」の解] แปล 漢字[日本語で発話する] ล้วนอ่าน แล้วเราอาจจะเป็นแบบพวกแสงที่ลอดออกมาผ่านไม้ ก็อาจจะเป็นแค่คำบรรยาย ก็อาจจะอ่าน	その瞬間太陽の光を見ました[「茂った」の解]、えー、この「漢字」は読めませんが、推測ではおそろく木々のすき間を通った光の類で、んーおそろく単なる説明の文、なので、飛ばします。		
66		แบบ มองว่าแบบ แล้วอาทิตย์ก็ลอดออกมาผ่านต้นไม้ไปเรื่อย เป็นแบบ ไม่อาจจะตรงกับที่ตรงไหน ก็ แบบเหมือนกับเห็นกลางแสง แหมอย่างสมุกสมาน	なんか、みえるのはなんか、木から差し込む太陽の光が、でなんか、ここであつてもどこであつても、んー光の中で話している、たのしそうに話している、ようです。		
67		แล้วก็ どの木にも[日本語で発話する] ไม่อาจจะต้นไม้ ต้นไม้ ก็คือดอกไม้บานสวยเต็มไปหมด แบบ เป็นเอ่อไรที่แบบเออ ต้องคำพ้องใจมาก แล้วก็	それから、「どの木にも」、木であつても、木、にも花がいつはきれいに咲いています。とかなかなかかんえー、とても目に心に響いて、それで、		
68	そこで、あした、おばあさまに、げんきでいきおいのいいお花をかさがして、たばかこしらえて、もってあげようや。	หมูน้อยหมากแดง ที่บอกว่า เออเนี่ย จะหาดอกไม้ ที่ สด ๆ สวย ๆ ไปให้คุณแม่ แบบไปทำเป็นถือดอกไม้มาให้คุณแม่	赤ずきんちゃん、がいったのは、うーそう、よくてきれいな「お花」をさがして、行っておばあさんにあげます。おばあさんにあげるお花をやりに行ったよなあ。		
69	するとおばあさん、きつとおよろこびになるや。	แล้วก็ คุณยายจะคงคิดถึงใจนะ ๑	それで、おばあさんはきつとよろこびに違いありません。		
70	まだ朝はやいから、だいたいようが、時間までに行かれるでしょう。」	เดี๋ยวลบนี้ถึงเช้าแล้ว ไม่เป็นไรหรอก ฮึ่มพอมืดเวลาทำงาย	ほら今はまだ朝です。だいたいようぶで、まだ十分に作っている時間があります。		
71	と、こうおもって、ついと横道から、その中へかだしてはいつて、森の中のいろりの花をかさがしました。	พอคิดในแบบที่ ก็เลย ออกจากเส้นทางถนนหลักเข้าไปในป่าเพื่อหาดอกไม้	そのようにかみがえると、それで、本道の横道から、花をかさがすために森の中にはいつて行きました。		
72	そうして、ひとつ花をつむと、その先に、もつときれいなのがあるんじゆなか、という気がして、そのほうへかてけで行きました。	พอเจอดอกไม้ชิ้นหนึ่งก็ ตั้งตัว เหย้ ก็อาจจะคิดว่าดอกไม้ที่สวยกว่านี้ก็มีนะ คิดในแบบที่ก็เลยเดินเข้าไปเรื่อย ๆ	「一輪の花に出会うなり、そのおもったのは、おお、んーおそろく、なにかよよりきれいな花がありますよ、このようにかみがえたのでかさがしてあるいて進んで行って。」		
73	そうして、だんだん森のおへおくと、さそわれて行きました。	แล้วก็เดินเข้าไปในป่าลึกเข้าไปเรื่อย ๆ ตามคำเชิญของหินหมาป่าพูดไร	それで、おおかみの獲いた言葉にしたがって徐々に森の深くなるはいつて行きました。		
74	ところが、このあいだに、すきをわらって、おおかみは、すたこらすたこら、おばあさんのおうちへかけていきました。	แล้วระหว่างนั้น เออ สุกะสิわらって[日本語で発話する] เออ คำนี้ แปลว่าไม่จบคำที่ฟังเป็นคำบรรยายที่ขี้เขลามาแบบ ไม่จบน่าไปไร	それから、そのあいだに、えー、「すきをわらって」、えー、この語は読めませんが、おおかみの、おおかみの、説明に使うの文です。		
75	すたこらすたこら[日本語で発話する] ฮึ่มเดินไปไกลเหมือนกับ ที่แบบอาจจะเป็นเอ่อไรที่ดูแบบ แบบ ๑ ลอย ๆ ไปที่ บ้านของคุณยายก่อน	すたこらすたこら[日本語で発話する] ฮึ่มเดินไปไกลเหมือนกับ ที่แบบอาจจะเป็นเอ่อไรที่ดูแบบ แบบ ๑ ลอย ๆ ไปที่ บ้านของคุณยายก่อน	「すたこらすたこら」、これも読めませんが、んーなんかおそろくは、こっそり、忍び足で、先におばあさんの家に行く、よくなことですよ。		
76	そして、とんとん、戸をたたきました。	หลังจากนั้น ๑ และ[日本語で発話する] ก็คือ เตะประตู	その後は、「とんとん」といっのは、戸をノックします。		
77	「おや、どなた。」	มันก็จะมาเป็นคำพูดของคนที่บอก มันใคร	これはおそろくはおばあさんの話した言葉です。それ、どなた。		
78	「赤ずきんちゃんよ、お菓子とぶどう酒を、おみまいにもって来たのよ、あけてちょうだい。」	หมาป่าก็จะมาเป็นเสียงที่เป็นหมูน้อยหมากแดง ว่า ที่หมูน้อยหมากแดงเอง เละซามกับที่คำของหมาเออเนี่ย เดี๋ยว เนี่ย คุณยายเออไปอยู่ให้หน่อยสิ	おおかみはおそろく声色赤ずきんちゃんのをりをして、こちら、赤ずきんちゃんです。お菓子とぶどう酒をもっておみまいに来ました。あけてください、おばあさんちよつと那をあけてくださいというよなあ。		
79	「とっ手をおしておくれ。おばあさんはご病気とよわって、おきれないだよ。」	บอกๆ เข้ามาใกล้เออ เพราะว่าอยากไปเยี่ยม เออ ลุคย์มันไม่ไหว	いったのは、はいってきいいますよ、おばあさん元気がないから、えー、おき上がったことができません。		
80	おおかみは、とっ手をおしました。戸は、ほんとおきました。	หมาป่าก็เลยเข้ามา จึง ๑ ตรงนี้จำไม่ได้ว่าเป็น 漢字[日本語で発話する] ว่าจะไร [「戸」のこと] แต่ก็คำว่าน่าจะประหลาด เพราะว่าน่าจะประหลาด [笑]	おおかみはそれで、はいって来ました。実はこのところ「漢字」がなかなか覚えていない[「戸」のこと]のようですが、推測ではおそろく戸です。推測ではおそろく戸で「笑」。		
81		แล้วก็ หมาป่าก็ไป ะมือเพื่อทำไม้ [笑]	それから、おおかみは使います、手か足か知りません[笑]	[協力者とデータ収集者の笑いが重なる。]	
82		จะมือเพื่อทำไม้ก็เดินเข้าไปแบบคงมี	手か足か知らないもので大き(ハン)というようにあけてはいって行きました。		
83	おおかみはずくとはいって、なんにもいわずに、いきなりおばあさんのねるところへ行って、あんぐりひと口に、おばあさんののみこみしました。	แล้วก็ หมาป่าก็เข้าไปทันที แบบไม่พูดอะไรเลย แล้วก็ไม่ไปที่ที่ที่คนยายกำลังนอนอยู่ แล้วก็ไม่กลับ แล้ว ก็กินคนเดียวเข้าไปในคำเดียวเลย	それから、おおかみはずくとはいって行って、まった(な)にもいわずに、です、それから、おばあさんが寝ているところまで行って、それから、のみこんだ。それで、ひと口でおばあさんをたべはいってしまいました。		
84	それから、おばあさんの着物を着て、おばあさんのすきををかぶって、おばあさんのお床(とこ)にごろりと寝て、カーテンを引いておきました。	หลังจากนั้นก็ได้เสื้อผ้าของคุณยายแล้วก็นั่งกินของคุณยาย แล้วก็นั่งกินคนเดียว แล้วก็นั่งกินคนเดียว เพราะว่าหมาบอกว่า มาถึงชนิดที่คิด	そのあとでおばあさんの服とそれに帽子を身につけて、それから、おばあさんのベッドで寝たふりをする、と同時にカーテンを引っかけて、カーテンがなんか来て、引き寄せて閉めておきました。		
85	赤ずきんちゃんは、でも、お花をつめるのにむちゅうで、森じゅうかまわっていました。	หมูน้อยหมากแดงก็กำลังสนุกกับการกินดอกไม้	赤ずきんちゃんは花を集めることしたのしんでいます。		

120	赤ずきんちゃんは、でも、さっそく、大きなごら石を、えんやらえんやはこんできて、おおかみのおなかのなかにいっぱい、つめました。	[しばらく読む。] แล้วคำผมก็ แล้วก็หลังจากนั้น คำก็เอาก้อนหินมาใส่ไว้ในช่องหน้าบ้านพวกโง่โง่เต็ม	[しばらく読む。]ですが、もし仮定するなら、それから、そのあとでこの人は石の塊をもってきて代わりにおおかみのおなかの中に入れていっぴいにしておきます。	
121	やがて目がさめて、おおかみがとびだそうしますと、石のおもみへたばりました。	พอหน้าปากตื่นขึ้นมา เออ ตรงนี้แปลในคอกออกคอกพวกพวกพวกตามานานไปก็เลย อำงอเอไปเลยว้าแบบ 石のおもみへた。[日本語で発話する]へたばりました。[日本語で発話する] คือเอาโง่โง่แต่ข้างรูสัตว์ เอามาวางหนักก้อนหินอะไรแบบนี้	おおかみが目が覚めますと、えー、このところはあまり寝ませんが寝てから意識はつかめず、睡って醒むと、なんか石のおもみへた！「へたばりました」がなにかわかりません、がおそろく、えーおそろくは悪い石の塊とかそんなようなにか、だと感じます。	
122	さあ、三人は大よこひです。	หลังจากนั้นสามคนก็ดีใจ	そのあとで3人はよろこびました。	
123				3人というのほ？
124		สามคนก็คือ นายพราน คนขาย และกึ่งหนูน้อย นวนกแดง	3人というのは、かりうど、おぼあさん、それに、赤ずきんちゃん。	
125	かりうどは、おおかみの毛皮をはいで、うちへもってかえりました。	แล้วก็หน้าปากก็เอาขนของเออ นายพรานเอานามาเอาขนหนังดีใจในส่วที่ก็ยกกลับมาไป ก็ น่าจะพามาเอาไปแล้วมัน [苦笑する。]	それから、おおかみは、の毛皮をとりました。いや、かりうどがおおかみをとって、毛皮をとっておいで、それから、手にして家にもって帰りました。まああそろくおおかみを殺してしまっただんでですね。[苦笑する。]	
126	おぼあさんは、赤ずきんちゃんのもってきたお菓子をたべて、ぶどう酒をのみました。	แล้วก็คุณยายก็กินของที่ ขนกับเหล่าจิ้งที่หนูน้อยนวนกแดงเอามา	それから、おぼあさんは、のものをたべます、赤ずきんちゃんのもってきたお菓子とぶどう酒を。	
127	それで、すっかりげんきをとりかえしました。	แล้วก็รู้สึกเออ げんき[タイ語的に改善する] ขึ้นแบบว่ารู้สึกดีแรงขึ้นมาเลย แบบรู้สึกดีแรงขึ้นมาเออเลยอ	それから、えー、「げんき」[タイ語的に改善する]になったように感じて、なんか元気になってきたように感じました。すっく元気になってきたようです。	
128	でも、赤ずきんちゃんは、(もうも、二どと、森の中で横道)はいつて、かけまわったりなんかやめまじょう。	แต่กึ่งหนูน้อยนวนกแดง ก็ คือว่า อ้อ พอแล้ว จะไม่ [กลัว] ฝรั่งพามา ถ้าครั้งหน้ามา ถ้าครั้งหน้าจะเข้ามาในป่าก็อย่าไป จะไม่เออกลางทางอย่าก็ อย่าไปเออกลางทางอย่าก็แล้ว แบบ ไม่ก็กลัวก็กลัวอย่างนี้	でも、赤ずきんちゃん、が、おもったのは、ですね、十分です。いや「睡って醒む」、もし次回来るなら、次回もう一度森の中にいっぴいってくるならしません。再び道の途中で寄り道はしません、二度と道の途中で寄り道はしません、花を摘みに行くとかなんとか、のようー。	
129	おかあさんがいけないと、おっしゃったのですものね。)と、かながえしました。	ถ้าไม่มีแม่มาด้วยก็คง อ้อ しゃったのですものね[日本語で発話する] หมายความว่า แม่ ไปด้วยไม่ได้ เพราะว่าแม่จวนออกบ้านไปนานแล้ว แม่ก็เลยเลยจวนจะ อ้อ ฝากกลางทางอย่าก็อย่างนี้ [笑う] จนแล้ว	もしおかあさんが来ていなければ「おっしゃったのですものね」とおおります。もしおかあさんがいなければ、えー、これはつまり、この人がいっているのはこの人のおかあさんが話していたことになっていて、というのはなんか、えー、道の途中で下りてはならないとかこんなような「笑う」、終わりました。	
130				疲れました？
131		はい[笑いながら日本語で発話する。]	「はい」[笑う。]	